

中学校

教科【技術】

題材【生物育成：作物の安全・適切な栽培を目指そう】

主体的・対話的で  
深い学びのポイント

デジタル栽培記録簿を活用して、安全・適切な作物の管理作業となるよう解決策を構想したり、問題解決とその過程を振り返り、よりよい栽培となるよう改善・修正したりする。

ICT活用のポイント

作物の栽培方法の改善の余地について個人やグループで考える場面においてデジタル栽培記録簿を活用することで、日々成長する作物の様子を正確に把握したり、根拠をもった交流をしたりすることを通して、自身の考えを深めることができる。

使用する  
ICT機器

P C、タブレット等

使用するアプリ・  
クラウドサービス等

Google Classroom、Googleスライド

クラウド  
の活用☒教材の配布・回収等  
☒生徒の学習状況の把握☒資料等の共有  
☒その他（デジタル栽培簿の作成及び保存）本時の  
ねらい

生物育成の記録と作物の生育状況を比較し、合理的な解決作業を決定できる。

主な学習活動  
(学習場面)

I C T の活用・留意点等

評価

導入

○前時の学習を  
振り返る

一斉

○本時の目標を  
確認する

一斉



Googleスライドで作成している栽培記録簿にアクセスし、生物の育成状況と前時の作物の管理作業等について確認する。

クラウド

指針4



Google Classroomにアクセスし、本時の目標を確認する。

クラウド

指針6



展開

○既存の技術に  
ついて確認す  
る

一斉

○問題を見いだ  
す

個別

○自分の考えを  
入力する

個別

○グループで構  
想する

協働

○実際の管理作  
業に向けた準  
備を行う

協働

個別



Google Classroomのリンクから、前時までに学習した、育成環境を調整する技術について確認するとともに、生徒が必要に応じて閲覧できるようにする。

指針2



栽培記録を確認し、現在の栽培の余地や問題を見いだす。

指針4



育成環境の調節方法を構想し、クラウドに入力する。

クラウド

指針2

ここで評価



収量の目標を達成するための適切な育成環境の調節方法についてグループで協議し、クラウドに整理する。その際、他のグループの調節方法も参考に、自分のグループの調節方法を改善するよう助言する。

クラウド

指針3



環境の調節に必要な用具等の準備や役割分担を行う。



グループで行う育成環境の調節方法を栽培記録簿に整理する。

指針2

ここで評価



【思】問題を見いだして、育成環境の調節方法を構想している。

【思】問題を見いだして、育成環境の調節方法を構想している。

終末

○本時の振り返  
り

個別



栽培記録簿に、本時の振り返りを記入する。

指針4

※ 表内の指針1～6は、「ICT活用授業指針」8ページにあるICT活用授業の目指す姿1～6を表しています。

※ ICTの導入が目的化しないように、ICTを活用する場面と活用しない場面を効果的に組み合わせることが重要です。

※ 評価の観点 【知】＝知識・技能 【思】＝思考・判断・表現 【態】＝主体的に学習に取り組む態度